

ギリシャ概況(2019年7月号)

1. 内政

・7日 議会解散総選挙がおこなわれた。新民主主義党(ND:中道右派)が現与党である急進左派連合(SYRIZA)に圧勝し、第一党となった。結果は以下の通り。

- 新民主主義党(ND) 中道右派 (獲得議席 158)
- 急進左派連合(SYRIZA) 左派 (獲得議席 86)
- 変革運動(KINAL) (獲得議席 22)
- ギリシャ共産党(KKE) (獲得議席 15)
- ギリシャの解決 (極)右派 (獲得議席 10)
- 欧州民主運動 2025(DiEM25) (獲得議席 9)

・9日 新内閣の大臣宣誓式が行われた。新政権の閣僚の約3分の1はテクノクラートで、副大臣は2名のみ。

・10日 新内閣による初閣議がおこなわれ、新政府の方針がミツォタキス首相により発表された。政府の優先目標は以下の通り。

- さらなる投資を伴う、力強い経済成長の実現
- より良い仕事の創出を伴う、力強い経済成長の実現
- 不動産価値の引上げ
- 治安維持の強化
- 社会的結束の強化
- 健康水準の向上
- 教育水準の向上
- 労使関係の刷新
- 環境保護
- ギリシャの中流階級層の活性化
- デジタルテクノロジーによる、官僚式の煩雑な手続きの緩和

・18日 国会にてタスラス議員が新国会議長に選出された。出席議員298名中283名が賛成票を投じ、棄権はギリシャ共産党(KKE)のみであった。

・18日 ギリシャ政府は、スキナス欧州委員会報道官をギリシャの次期欧州委員として推薦することを発表した。

・20日 ミツォタキス首相が、所信表明演説を行った。

・21日 ミツォタキス首相は新政権における財政プログラムを発表した。主な内容は以下の通り。

- 2019年分の企業税を28%から24%へ、その後段階的に20%へ引き下げ
- 年間所得1万ユーロ以下の所得税率を22%から9%へ引き下げ
- 年間所得4万ユーロ以上の所得税率を現行の45%から引き下げ(新たな税率)

未定)

- 負債返済における 120 回分割払いの更なる負担軽減(最低支払い額を 30 ユーロから 20 ユーロへ引き下げ, 利息の軽減など)
- 統一不動産税の削減(最高 22%減)
- 連帯税の段階的廃止
- 付加価値税の標準税率と軽減税率をそれぞれ 24%から 22%, 13%から 11%に引き下げ
- 社会保険料を 20%から 15%に引き下げ

2. 外政

- ・9日 東地中海キプロスEEZにおけるトルコの違法探査行為を受け, ギリシャ外務省が非難声明を発出した。
- ・10日 ギリシャ訪問中のカシス・スイス外相がデンディアス外相と会談した。「カ」外相はキプロスを訪問した直後であり, ギリシャの後にトルコを訪問予定。
- ・12日 ギリシャ外務省は, グアイド・ベネズエラ国会議長を同国暫定大統領として承認する旨の声明を発出した。
- ・26日 フランゴヤニス外務政務官(経済外交・国外進出等担当大臣)は, 日本から訪希した田中内閣府副大臣とエンタープライズ・グリースで会談した。ギリシャ外務省によると, 日本政府はイノベーション, 医療システム, インフラシステムの維持管理といった分野におけるハイテク新興企業への投資に関心を示していると発表された。

3. 移民・難民問題

- ・6月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が 950 名、島嶼部に到着する者の数が 3,100 名となった。
- ・6月30日現在, ギリシャに滞在する移民・難民は 80,600 名。うち、17,150 名が島嶼部に滞在。(UNHCR 発表)

4. 経済

(1) 経済動向

- ・2日 ギリシャ中央銀行のデータによると, 5月の預金高は約 3億 4,500万ユーロ増加し, 1,115億ユーロとなった。年間推移率は 5.7%増。
- ・2日 ユーロスタットのデータによると, 5月のユーロ圏の平均失業率は 7.5%となり, 4月の 7.6%より 0.1%減少, 前年同月の 8.3%より 0.8%減少した。ギリシャの失業率は依然としてユーロ圏で最も高く, 18.1%(3月データ)であった。
- ・2日 ギリシャ 10年物国債利回りは一時 2.09%まで下がり, 2.16%で閉場した。5年物国債利回りも 1.306%から 1.185%に下がった。

- ・16日 ギリシャ 7年物国債が発行された。335以上の投資家(アセットマネジメント55%, 銀行20%, ヘッジファンド10%, 保険基金9%)から130億ユーロを超えるオファーがあり, 利回りは1.9%となった。2018年2月に7年物国債を発行した際の利回りは3.5%。
- ・24日 ギリシャ10年物国債の利回りはさらに低下し, 1.999%を記録した。
- ・26日 財務省によると6月の歳入は大幅に減少し, 目標額を6億500万ユーロ下回り32億6,400万ユーロとなった。とくに付加価値税や特別消費税, 所得税など11項目にわたって税収が目標額を下回った。

(2) 財政

ギリシャ財務省が7月25日付けで公表した2019年1月から6月の財政統計によると, 1月から6月の財政収支は26億8,700万ユーロの赤字, 同期間のプライマリバランスは3億8,100万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は234億5,000万ユーロで政府目標を19億4,100万ユーロ(9.0%増)上回り, 歳出は261億3,700万ユーロと政府目標を1億9,100万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の7月8日付の発表によると, 5月の輸入総額は52億3,090万ユーロ(前年同月比20.1%増), 輸出総額は30億4,460万ユーロ(前年同月比3.0%増)となった。

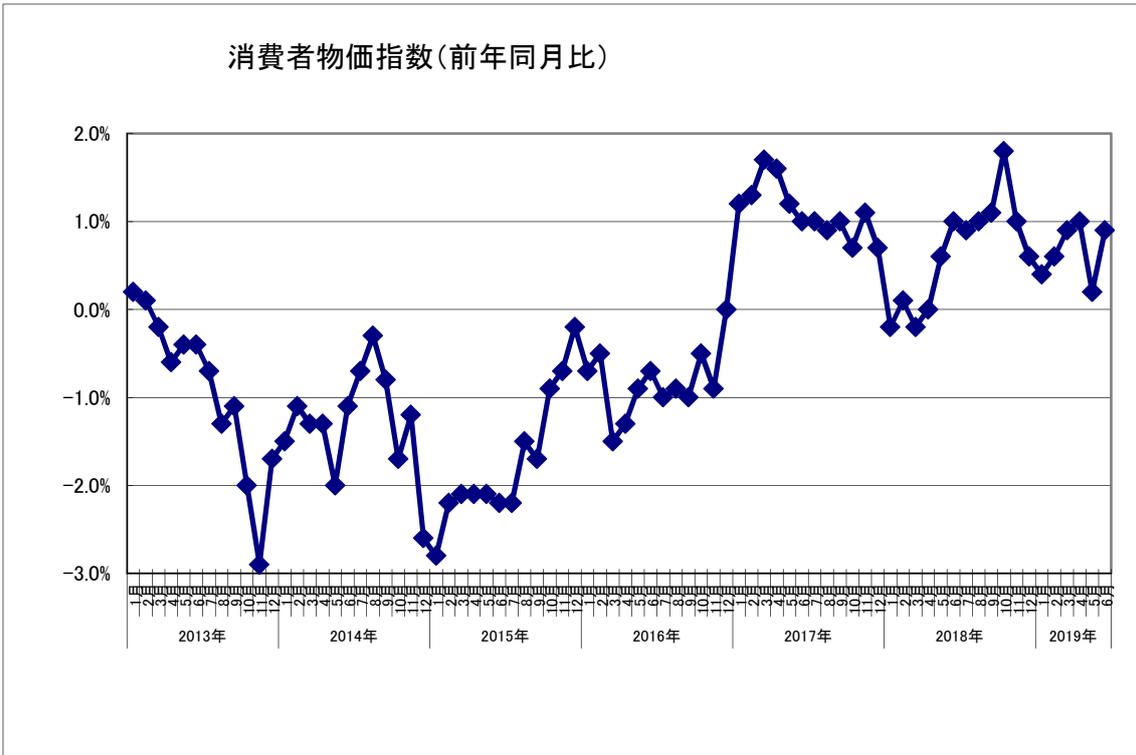
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETTE)の発表によると, 3月の観光客は49万5,734人で前年同月比は0.2%減となった(国内主要空港の観光客到着数の観光客到着数)。内訳は, アテネ空港が35万6,299人(同17.1%増)、テサロニキ空港が12万3,494人(同6.5%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

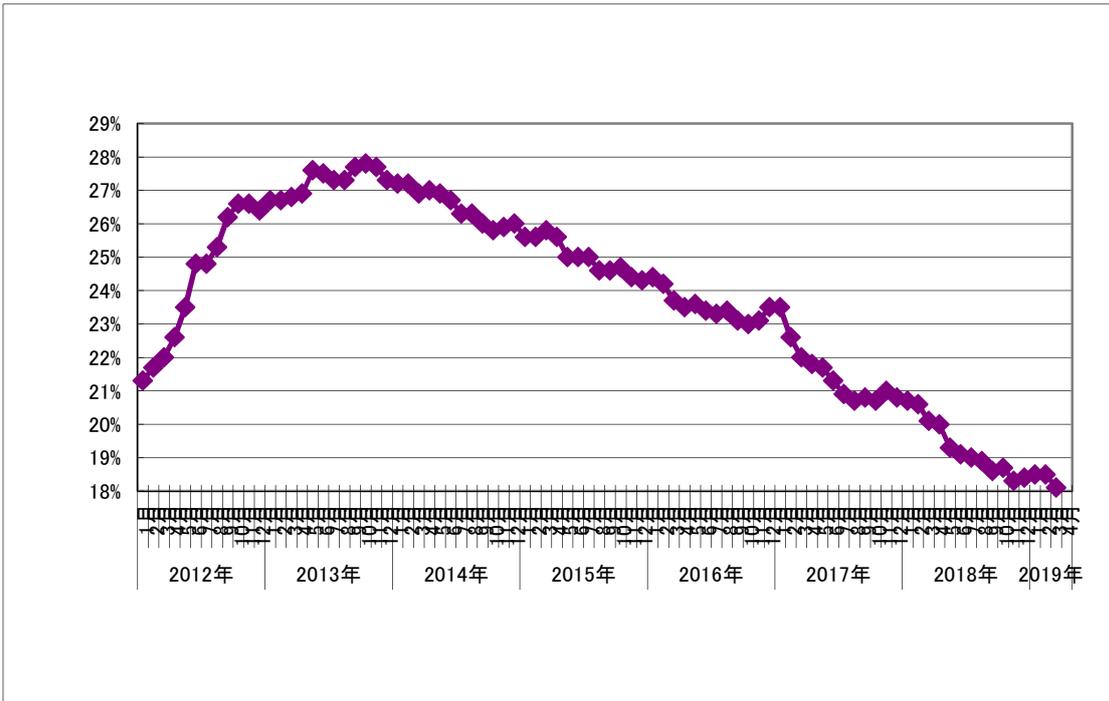
ギリシャ統計局の7月10日付の発表によると, 6月の消費者物価指数は前年同月比0.3%減となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の7月11日付の発表によると、4月の失業率は17.6%となり、前月から3.1%減少した。



(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECD のデータによると、2019 年第 1 四半期(1 月～3 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 1.3%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)